

最優秀賞に松岡コンクリート

NOBUNAGA 21

十六銀行や野村證券、トーマツが運営する地域ベンチャー支援ネットワーク「NOBUNAGA 21」は、第四回となる「ベンチャービジネス助成金」の受賞者を決定した。最優秀賞には、松岡コンクリート工業（大垣市）が選ばれた。

ベンチャービジネス助成金は、岐阜県、愛知県下に主な事業所を置くベンチャー企業を対象に、独創性や可能性を評価し、優れた事業に助成金をおくる取り組み。地域活性化の一環として、新事業の創出やベンチャー

ベンチャー一成 ESPINEXなどに優秀賞

育成などを目的に行っている。

最優秀賞には今回、構造物の蓄熱を防ぐヒートアイランド対策商品「ロードクーラー」を展開する松岡コンクリートに決まり、助成金百万円がおりられた。

そのほか、「迅速細菌検査システム」開発のESPINEX（名古屋市）、安全でクリーンな有機廃棄物のリサイクル事業を進める藤村通商（一宮市）、ウエディング部門を中心にしたホテル再生を手がけるブライズワード（名古屋市）の三社が優秀賞を獲得、助成金十万円を手にした。

（岐阜）